



## 佳作（伯方塩業株式会社賞）

ひっかく

満野 美彩子

粘土

### 講評

大変印象的な造形で、粘土で作った容器でありながら、大きな穴を貫通させています。粘土を指先で押したり、なでたりして形を変化させていますが、下部には紐づくりで粘土を重ねた跡がそのまま残されており、その対比が効果的です。その成形されたものに対して、大胆に穴を開けた器は、まるで抽象の彫刻作品のようにも感じられます。

また、実際に手に取ったときの重量は想像以上に重く、茶色がかった深みのある黒色は、鉄の塊のような重厚感を感じさせます。触って鑑賞できるのであれば、目を閉じて、指先で形を追いながら鑑賞を試みたくなる作品です。（高木 学）